

家庭用の電気給湯機「エコキュート」などから発生する低周波音の被害を訴える人が増えている。人によって不眠や吐き気などの症状が現れるが、通常の騒音と違って計測は難しく、環境規制はない。発症の仕組みも未解明だ。「新たな環境問題」に対し、国や自治体、業界団体の対策はあまり進んでいない。(寺西雅広)

眠れる夜を返して

広がる低周波音被害

— 上 —

「何もしていないのに、あの日から生活ががらりと変わってしまった」。埼玉県県の六十代夫婦は声を震わせる。もう二年近く、不眠

た。とても眠れる状態ではなかった」と話す。二人は体調を崩し、隣家に移設してもらおうよう相談。移設費用も負担すると申し出たが、「不良品ではないのに、移設する理由がない」と断られた。やむなく昨年夏、メーカーと隣家などを相手取り、稼働の差し止めと損害賠償

隣家の電気給湯機

逃げ場のない圧迫感

や吐き気、頭痛、肩こりに苦しんでいる。

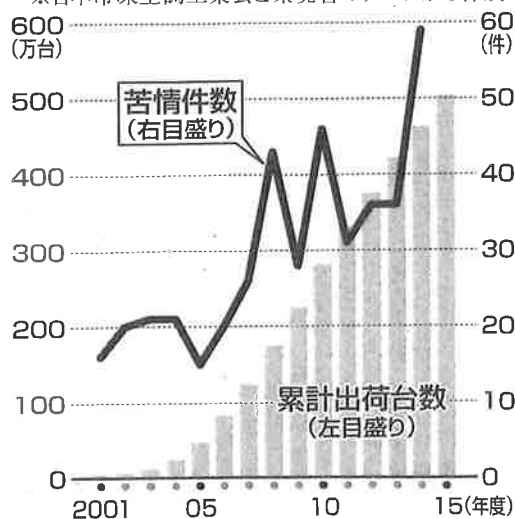
被害が始まったのは昨年一月下旬の夜。妻が風呂から上がると、「ゴーという音が響いているのに気付いたら」。音源を捜したところ、隣家の敷地内に設置されたばかりの家庭用電気給湯機「エコキュート」だった。自宅との距離は約二メートル。見取り図参照。夫は「部屋が音で震えるように感じ

を求めてさいたま地裁川越支部に提訴。被告側は「音は小さく、問題ない」と反論し、現在も争っている。夫婦はあまりに苦しいと

を求めてさいたま地裁川越支部に提訴。被告側は「音は小さく、問題ない」と反論し、現在も争っている。夫婦はあまりに苦しいと

エコキュートの出荷台数と「家庭生活」からの低周波音への苦情件数推移

※日本冷凍空調工業会と環境省のデータから作成



低周波音 おおむね1000ヘルツ以下の音を指し、人の耳には聞こえにくいレベルの音もある。工場や風力発電の風車からの低周波音で健康被害を受けているとする苦情は以前からあったが、最近ではエコキュートなど家庭が音源となる傾向がある。

夫婦が音源と指摘するエコキュートは、外気熱を利用して湯を沸かす「ヒートポンプ」を使った電気給湯機の総称だ。電気料金の安い夜間に湯を沸かし、貯湯タンクにためる。ファンやコンプレッサー(圧縮機)が部品として使われている。

メーカー九社が加盟する一般社団法人日本冷凍空調工業会によると、出荷台数は二〇〇一年の発売以来、累計で五百万台を超えた。普及と重なるように、低周波音の苦情も増えている。グラフ参照。環境省によると、全国の自治体に寄せられた低周波音の苦情件数は一四年度に二百五十三件。このうちエコキュートを含む「家庭生活」を音源とする苦情は五十九件で、〇一年比で三倍以上になった。

夫婦が音源と指摘するエコキュートは、外気熱を利用して湯を沸かす「ヒートポンプ」を使った電気給湯機の総称だ。電気料金の安い夜間に湯を沸かし、貯湯タンクにためる。ファンやコンプレッサー(圧縮機)が部品として使われている。

メーカー九社が加盟する一般社団法人日本冷凍空調工業会によると、出荷台数は二〇〇一年の発売以来、累計で五百万台を超えた。普及と重なるように、低周波音の苦情も増えている。グラフ参照。環境省によると、全国の自治体に寄せられた低周波音の苦情件数は一四年度に二百五十三件。このうちエコキュートを含む「家庭生活」を音源とする苦情は五十九件で、〇一年比で三倍以上になった。

眠れる夜を返して

広がる低周波音被害

— 下 —

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市

の井坂和広弁護士は、こう感じている。

きっかけは国の消費者安全調査委員会(消費者事故調)が二〇一四年十二月に発表した調査結果。エコキュートの運転音による被害を訴えていた群馬県の夫妻の自宅の調査で、「低周波音が健康症状の発生に關与している可能性がある」としたのだ。

消費者事故調



隣家のエコウィルが左手の窓の外にあり、「洗面所に来ると頭が痛くなる」と男性は話す=愛知県で

健康症状可能性に言及

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

「以前は、低周波音の被害を訴えても相手にされなかったが、風向きが変わりつつある」
六年前から家庭用電気給湯機「エコキュート」の運転音が原因の訴訟や調停に関わってきた群馬県高崎市の井坂和広弁護士は、こう感じている。

(寺西雅広)